



すごいベンチャーNEXT

Toyokeizai Japan's Startups and Government Forum 2023

## 企画趣旨 - すごいベンチャーNEXT2023 -

このたび、数十年に渡り日本のベンチャー企業を紹介してきた東洋経済新報社が主催し、ベンチャー・スタートアップ企業とそのステークホルダーの方々（大手企業や投資家）に向けた企画を実施いたします。

企画は、「東洋経済オンライン」『週刊東洋経済』オフラインイベントにて展開します。

オフラインイベントでは、過去「すごいベンチャー100」でご紹介した企業のCEOの登壇、また、これからの要となる政府のスタートアップ支援施策について、更に、CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）のあり方や大学VCに関する内容まで、関係者の登壇を通じて、今の生の課題、成長戦略について、議論します。ネットワーキングの場及び、サービスが紹介できるブースもご用意し、活発な議論を促進します。

「東洋経済オンライン」にて、スポンサード企業のスタートアップ支援施策をご紹介、『週刊東洋経済』では、イベント模様を採録形式で掲載いたします。

## 開催概要

- 東洋経済オンライン : 2023年9月25日週以降 順次掲載
- イベント開催（オフライン） : 2023年10月25日予定
- 週刊東洋経済掲載 : 2023年12月予定
- 対象読者・視聴者 : スタートアップの経営者、VC、アントレプレナー、経営層、経営企画、個人投資家、機関投資家、スタートアップとのビジネス検討層





経済情報が強み



意思決定に  
関与



情報感度が高く  
意欲的



ビジネス誌系  
No.1サイト



50~60歳  
経営層・マネジメント層  
中心



30~40歳  
ビジネスの最前線に  
いるリーダー層中心



ビジネスパーソン及び投資家に幅広くリーチできます。

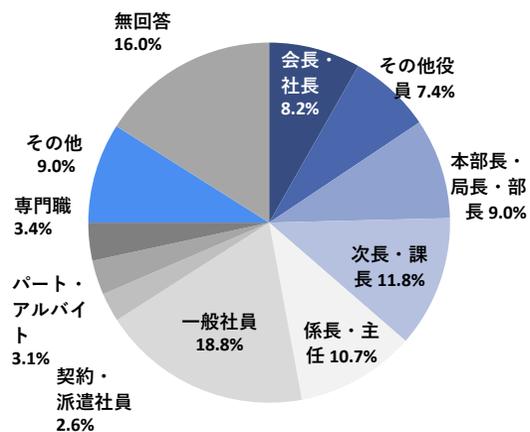
# 週刊東洋経済 — 読者プロフィール —



『週刊東洋経済』は、1895年（明治28）年に創刊された日本で最も歴史のある週刊誌です。読者全体の約4割を占めるコア層は、経営の中枢を担う経営層、マネジメント層になります。企業活動の意思決定に関与する立場にある読者は約5割、高所得で購買力があることも大きな特徴です。

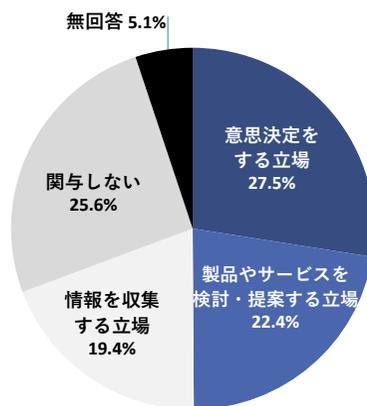
※ 詳細につきましては、媒体資料をご覧ください。

## 役職



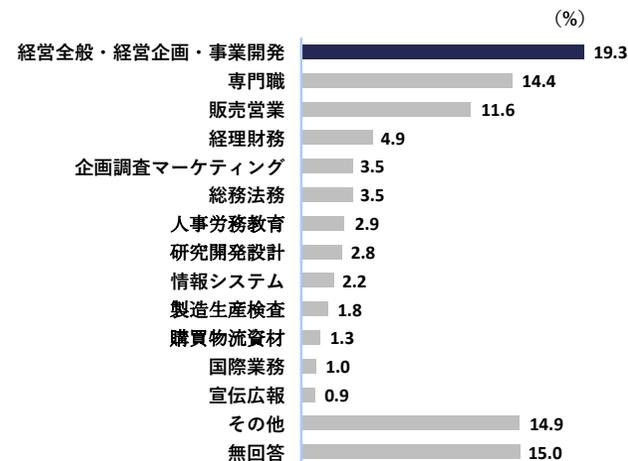
約4割が経営の中枢を担う  
マネジメント層

## 意思決定の関与度



約5割が事業の意思決定に関与

## 職種



約2割が経営全般  
専門職、営業が続く

# 東洋経済オンライン — 読者プロフィール —

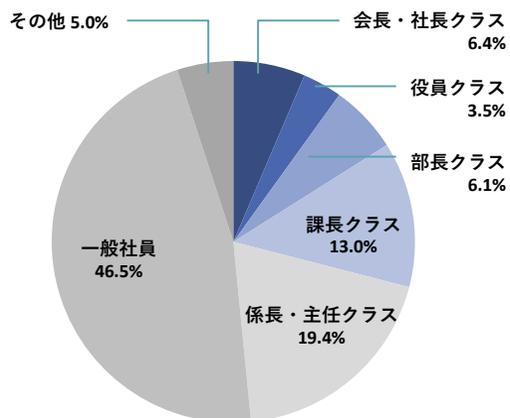


『東洋経済オンライン』は、月間184,483,452 PV、30,778,968 UB（日本ABC協会 2022年1月～3月平均）を誇るビジネス誌系No.1サイトです。

ユーザーは6割が男性、4割が女性で、平均年齢は40歳、平均世帯年収は1000万円超と、ビジネスでアクティブに活躍する所得の高い方がコアを占めます。

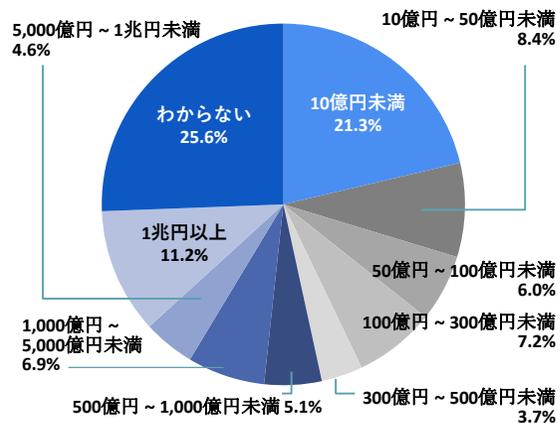
※ 詳細につきましては、媒体資料をご覧ください。

## 役職



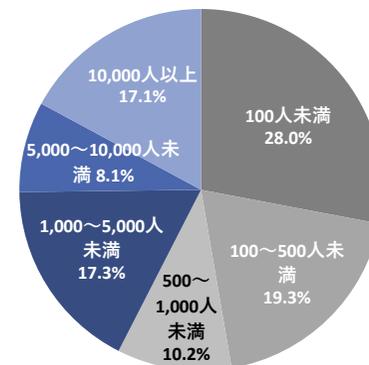
課長クラス以上が約3割

## 勤務先年商



年商500億円以上の企業に  
約4分の1が勤務

## 従業員規模



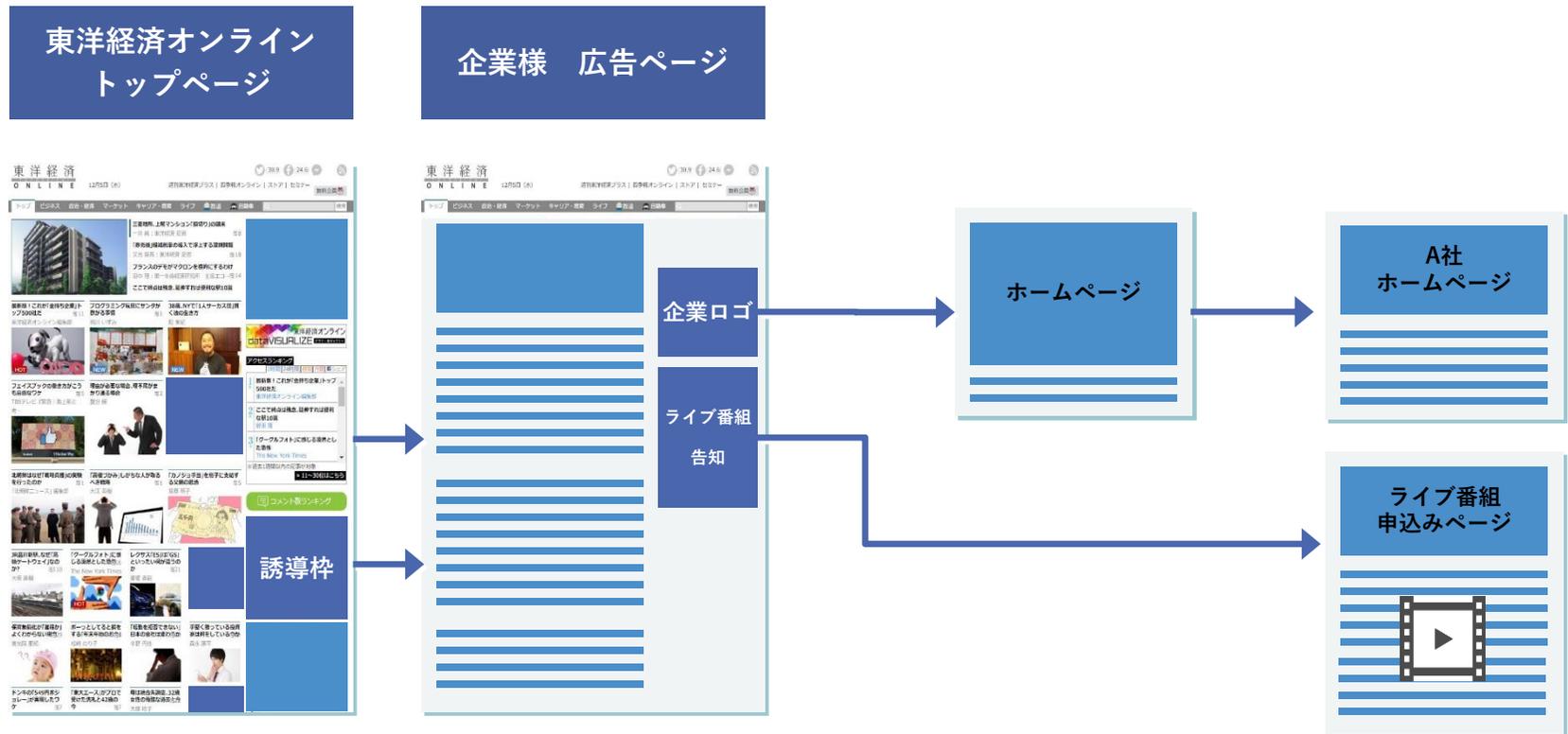
1000人以上が約4割

# すごいベンチャーNEXT2023 ～プログラム案～

分	講演形式	タイトル	講演概要
50分	対談	政府のスタートアップ支援で日本はどう変わる 起業家と政府が共に創る未来：日本ベンチャー産業の成長戦略	2022年度、政府はスタートアップ支援政策を打ち出しました。首相官邸の公式サイト※によると、政府は2027年度までに年間投資額を10兆円に引き上げ、100社のユニコーン企業と10万社のスタートアップ企業を創出することを目指しています。これまで日本のスタートアップ産業は他国に比べて絶対数や時価総額が少ないことが課題でしたが、今回の政策によって国内からも経済の牽引役を担うイノベーションが生まれるかもしれないと期待されています。本セッションでは、政府のスタートアップ支援政策の概要や狙いについて専門家から解説するとともに、現在第一線で活躍する起業家の方々に、政策への期待や今後の業界についての見解についてディスカッションしていただきます。 (※ <a href="https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202211/24startup.html">https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202211/24startup.html</a> )
40分	パネルディスカッション	過去「ベンチャー100」の今 成長企業CEOが語る勝ち筋と次の一手	東洋経済では、約30年前から経済活動の原動力となるベンチャー企業に注目し、『ベンチャークラブ』の刊行※、各種特集を行ってきました。中でも、2016年開始の『すごいベンチャー100』は、四季報で培った分析力を強みに徹底調査を行い、毎年100社を選定するという企画。今年で7年目を迎え、話題の名物企画となっています。この度、同特集に長年携わってきた編集者と過去紹介企業のCEOとの初登壇。近年の変化や今年のトレンド、また成長企業とそうでない企業の差、または、持続的な成長を目指すためのこれからの課題について議論します。(※『ベンチャークラブ』は1994年～2002年発行)
40分	パネルディスカッション	大企業の自前主義はもう通用しない 失敗しない「スタートアップ協業」の処方箋	自前主義で成長してきた過去をもつ強大な日本の大企業（成熟企業）でも、オープンイノベーションや、事業基盤の拡充、ポートフォリオの再構築などによる盤石な経営体制を敷くことが求められています。一方で、スタートアップエコシステムがかたち作られてそろそろ10年を迎える今、第一期の終わりが近づき、スタートアップ経営の環境も大きく変化している状況です。大企業とスタートアップが互いに抱える深刻な課題は、協業によるシナジーが解決できるのではないかと、日本の大企業が再びプレゼンスを発揮できる仕組みを当事者同士が議論します。
40分	パネルディスカッション	失われた30年を取り戻せ ユニコーン化するスタートアップの条件とは	スタートアップの世界トレンドが「冬の時代」を迎えている中、日本国内のスタートアップの資金調達額は過去最高となっています。しかしながら、スタートアップへの投資は、シード・アーリーステージに流れている傾向がありイグジットに近い成長後期ほど資金調達額が減少しています。いかに社会的に価値のある事業を創出することはさることならば、IPOのタイミングや初値時価総額、セクター別の動向を踏まえてIPO後にも継続的に事業成長し大規模な成長資金は得てユニコーン化するスタートアップの条件について考察していきます。
40分	パネルディスカッション	起業の新たな潮流を学ぶ！ 多様化するベンチャーを取り巻く環境	岸田内閣は2022年に「スタートアップ創出元年」を宣言し、新しい企業の誕生を通じた経済活性化への重要性を強調しています。それに倣う形で、地方自治体や大学など、各機関がベンチャー企業の支援に乗り出し、起業支援が多様化するなか、大学発ベンチャー、大企業から派生したスピンアウト、スピンオフベンチャーや、ベンチャー企業の在り方も多様化しています。本セッションでは、ベンチャー企業とベンチャー企業を取り巻く環境を分析しながら、ベンチャー企業のあるべき姿を探っていきます。
20分	ラップアップセッション		

# 東洋経済オンライン — 掲載概要 —

## 東洋経済オンライン掲載



※ 誘導枠位置、特集の構成は変更になる可能性があります。

※ オンライン転載は開始日の11時スタートになります。期間は4週間を想定、1万PV保証となります。アーカイブは1年保証です。

# 週刊東洋経済 — 掲載概要 —

## 週刊東洋経済

### スポンサード企画

ライブ番組の内容をレポートとして、記事化して、ご紹介します。

### イベント開催



パネルディスカッション

基調講演

※企画全体は4ページとなります

## 東洋経済オンライン



スタートアップ支援に纏わるサービス、導入事例や取り組み内容のご紹介、関係者への認知、ブランディングに最適です。

※A.スペシャルスポンサー、B.プレミアムスポンサーのみ

すごいベンチャーNEXT  
イベント開催

イベント時のロゴ掲載、ブース出展、イベント内での動画配信が可能となります。

※A.スペシャルスポンサーは、パネルディスカッションやコンテンツにて、貴社サービスと連動いたします

## 週刊東洋経済



イベント時の内容を広告特集として、週刊東洋経済に掲載します。

※A.スペシャルスポンサーは、記事内でも触れますが、B.プレミアムスポンサー、C.ゴールドスポンサーは、ロゴ掲載のみとなります

## 料金・プラン

名称	内容	スポンサー料金 (企画特別料金)
A. スペシャル スポンサー	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆イベント (リアル150名・アーカイブ150名想定) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パネルディスカッション、テーマ・コンテンツ連携</li> <li>・ 会場でのブース出展・展示</li> <li>・ LP、会場にロゴ掲載</li> <li>・ イベント内でのインフォーマショナル、動画配信</li> <li>・ 申込者のリード提供</li> </ul> </li> <li>◆メディア <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「東洋経済オンライン」編集記事風体裁 掲載1万PV保証</li> <li>・ 『週刊東洋経済』4Pレポートにてロゴ掲載 (採録記事)</li> <li>・ 弊社動画制作 + 各種SNSでの展開</li> </ul> </li> </ul>	<p>10,000,000円</p> <p>定価：誌面掲載料 2P1,700,000円 + 制作費 400,000円 + Web掲載3,000,000、 単独セミナー実施 (オフライン) 5,400,000円～ (税別) + 動画制作メニュー 4,000,000円～</p>
B. プレミアム スポンサー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「東洋経済オンライン」編集記事風体裁 掲載1万PV保証</li> <li>・ イベント会場でのブース出展・展示</li> <li>・ 来場者個別アンケート実施</li> <li>・ イベントLP、イベント会場にロゴ掲載</li> <li>・ イベント内での動画配信 (貴社素材提供)</li> </ul>	<p>4,500,000円</p> <p>定価：誌面掲載料 2P1,700,000円 + 制作費 400,000円 + Web掲載3,000,000、 単独セミナー実施 (オフライン) 5,400,000円～ (税別) + 動画制作メニュー 4,000,000円～</p>
C. ゴールド スポンサー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント会場でのブース出展・展示</li> <li>・ 来場者個別アンケート実施</li> <li>・ イベントLP、イベント会場にロゴ掲載</li> <li>・ イベント内での動画配信</li> </ul>	<p>1,500,000円</p> <p>※本イベント専用の特別メニュー 東洋経済オンラインでの追加記事掲載の場合、 +3,000,000円</p>

※「東洋経済オンライン」編集記事風体裁 掲載1万PV保証については、リードジェネレーション100件保証への変更も応相談となります。

事前審査があるため、詳細は営業担当までお問い合わせくださいませ。

※プレミアムスポンサー、ゴールドスポンサーへのリード提供はなし (アンケートのみ) となりますが、ブース内でのリード獲得可能となります。

※イベント内動画配信用の動画制作に関して、別途費用発生となりますが、弊社での制作も可能です。

# スケジュール

## スケジュール

### — ご掲載の締切

申し込み締切	8月31日（木）
取材締切	応相談
東洋経済オンライン 公開日予定	9月25日週以降
イベント 開催日	10月25日（水）予定

※スケジュールについては、暫定となります。  
詳細は、営業担当までお問い合わせくださいませ。

## オプションプラン ※別料金

### — 抜き刷り（小冊子）

記事広告を抜き出して印刷いたします。『週刊東洋経済』の表紙やロゴを配した小冊子を営業ツールとしてご利用いただけます。

### — 外部ブースト

オンライン転載した記事広告に、SNSやニュースアプリなどから誘導をかけられます。

# お問い合わせ

---

株式会社東洋経済新報社  
ビジネスプロモーション局

<https://biz.toyokeizai.net/ad/>

本社

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1

Mail : [ad-ask@toyokeizai.co.jp](mailto:ad-ask@toyokeizai.co.jp)

\* 詳しくは営業担当までお問い合わせください。